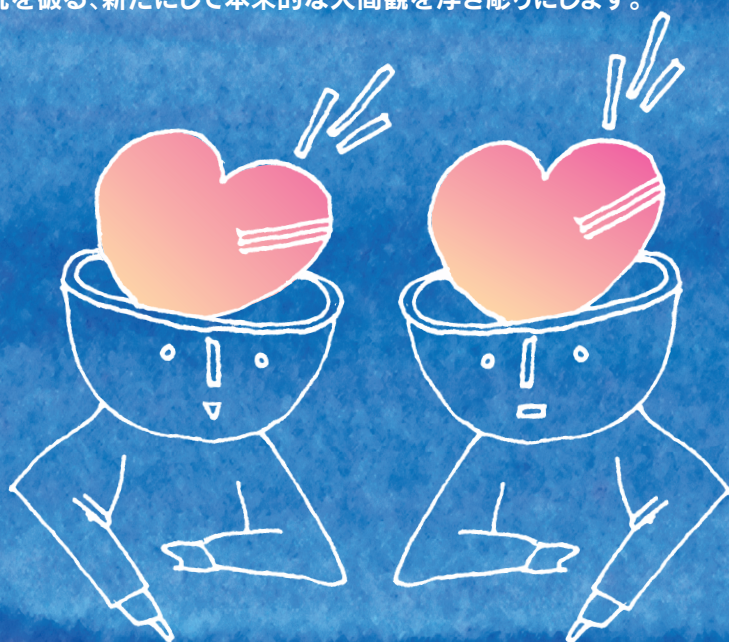


「貢献する心の生物・文化的起源と将来」

シンポジウム

誰かの役に立てたとき、なぜ人は心地よく感じるのか?——相互扶助、互惠性をもって共進化してきた生命史・文化史をふりかえり、利己主義、競争至上主義のもとに現今の閉塞状況を破る、新たに本来の人間観を浮き彫りにします。



恵 み 合 う 喜 び と 生 き る 力

日時 7月16日[土] 12:30開場/13:00開演

場所 国際文化会館・講堂[六本木・定員80名]

<http://www.i-house.or.jp>

参加費 無料[要予約・参加を希望される方は下記宛にご一報ください]

連絡先 工作舎 | [TEL] 03-5155-8940/[FAX] 03-5155-8941

[E-mail] saturn@kousakusha.co.jp

・ [オーガナイザー]

・ 谷川多佳子

・ [共催]

・ ホモコントリビューエンス研究所*

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・



[協力] 工作舎

プログラム[予定]

▶第1部 | 恵み合う喜びの起源をさぐる

●他者を思う心の進化: 共感と幻想——長谷川真理子

●ライブニッツと互惠の哲学——谷川多佳子

●「お互いさま」の絆をむすびあう——上田紀行

▶第2部 | 孤立した自我の彼方へ

●視点をつなぐ「ふれあい共想法」——大武美保子

●協調的世界像の起源と芸術——大橋力

●ロボットは貢献心をもつことができるか——瀬名秀明

▶討論[17:30終了/その後懇親会を予定]

*ホモコントリビューエンス研究所は、加藤尚武研究所長のもと、人間の本能としての「貢献心」の存在に光をあて、多角的に研究を推進する一般財団法人です。

長谷川眞理子^{〔はせがわ・まりこ〕}

●総合研究大学院大学先導科学研究科長・教授。日本人間行動進化学会会長。タンザニアの野生チンパンジー、イギリスのダマジカ、スリランカのクジャクなどのメスによるパートナー選びの生態を研究。これらのフィールドワークを背景にして進化生物学、行動生態学の視点から、人間の本性の進化的研究を推進。性淘汰（選択）や利他行動など、いわゆる「最適者生存」や「弱肉

谷川多佳子^{〔たにがわ・たかこ〕}

●筑波大学大学院人文社会科学研究科教授。ホモコントリビューエンス研究所副所長。哲学・思想専攻。パリでデカルト、ライプニッツを中心に近代哲学を形成する思想・言語・イメージのダイナミズムを研究。現代哲学や日本思想の研究者はもとより、J=M・シャルコーにはじまる精神医学や美術、脳科学などをリードする研究者との交流により、新たな人間像、思想の可能性をさぐって

上田紀行^{〔うえだ・のりゆき〕}

●東京工業大学大学院社会理工学研究科准教授。価値システム専攻。スリランカで「悪魔払い」のフィールドワークを行ない、文化人類学の観点から「癒し」に関する研究をすすめる。また日本仏教再生に向けて、「仏教ルネッサンス塾」塾長や、宗派を超えた若手僧侶の討論の場「ポーズ・ビー・アンビシャス」のアドバイザーとしても活躍。東日本大震災後も、メディアでアクチュアル

大武美保子^{〔おおたけ・みほこ〕}

●東京大学人工物工学研究センター サービス工学研究部門准教授。「機械は固いもの」という既成概念を覆す「ゲルロボット」の開発にはじまり、工学と生命科学、医学、脳科学、情報学、計算機科学などの融合領域の研究テーマを開拓し続ける。2008年には実践研究のためのNPO法人「ほのほの研究所」を設立し、代表理

大橋力^{〔おおはし・つとむ〕}

●文明科学研究所所長。国際科学振興財団主席研究員。科学者として、音響学、情報環境学、生命科学、脳科学、生態人類学などの超領域研究をすすめ、高周波を豊富にふくんだハイパーソニック・サウンドが人間の脳の基幹部を活性化する効果を明らかにした。芸術家として、山城祥二の名で芸能山城組を主宰。作曲、指揮、演出、制作などを通して、「自我表現」の限界を超える共同体

瀬名秀明^{〔せな・ひであき〕}

●作家。東北大学大学院薬学研究科在学中の作品『パラサイト・イヴ』（日本ホラー小説大賞受賞、新潮文庫）で作家デビュー。『BRAIN VALLEY』『八月の博物館』『デカルトの密室』（新潮文庫）、『ハル』（文春文庫）、『希望』（ハヤカワ文庫JA）などの小説のほか、エッセイ集『おとぎの国の科学』（晶文社）、『世界一敷居が低い最新医学教室』（ポプラ社）やノンフィクションでも幅広く執筆活動を展開。と

強食」というような通俗化したダーウィニズムでは捉えられない進化の過程に光をあてる。

著書に『クジャクの雄はなぜ美しい？』（紀伊國屋書店）、『ダーウィンの足跡を訪ねて』（集英社新書）、訳書にH・クローニン『性選択と利他行動』（工作舎）、C・ダーウィン『人間の進化と性淘汰』（文一総合出版）ほか。

いる。

著書に『デカルト研究——理性の境界と周縁』『デカルト『方法序説』を読む』（岩波書店）、『主体と空間の表象——砂漠・エクリチュール・魂』（法政大学出版局）、訳書にR・デカルト『方法序説』『情念論』（岩波文庫）、G・W・ライプニッツ『人間知性新論』（共訳・工作舎）ほか。

な提言を重ねている。

著書に『がんばれ仏教!』『目覚めよ仏教!〜ダライ・ラマとの対話』（NHKブックス）、『生きる意味』（岩波新書）、『かけがえのない人間』（講談社現代新書）、『慈悲の怒り―震災後を生きる心のマネジメント』（朝日新聞出版）ほか。

事・所長として、自ら開発した「ふれあい共想法」による市民参加形の認知予防サービスを柏市を起点に各地で展開している。

著書に『Electroactive Polymer Gel Robots — Modelling and Control of Artificial Muscles』（Springer-Verlag）。

としての芸術表現を展開する。

著書に『情報環境学』（朝倉書店）、『音と文明——音の環境学ことはじめ』（岩波書店）、『脳科学と芸術』（共著、工作舎）など。CD／LP 14タイトルなど作品多数。「芸能山城組ライブ」でレコード大賞企画賞、映画「AKIRA」の音楽で日本アニメ大賞最優秀音楽賞など受賞。

くにロボットにおいては研究最前線を並走し、『ロボット21世紀』（文春新書）、『瀬名秀明ロボット学論集』（勁草書房）、『ロボットとの付き合い方、おしえます。』（河出書房新社）などを上梓する。最近では藤子・F・不二雄の漫画を原作とする『小説版ドラえもん のび太と鉄人兵団』（小学館）を刊行し、子どもとロボットに育まれる思いやりの心をいきいきと描く。